

分科会 3

運営委員：島崎 千江子（大手前短期大学）

1. 目的

広報担当者の業務はやりがいを感じるものの、昨今の学生募集の厳しさから様々な方面とのコミュニケーションにおいてストレスを感じることも少なくない。全体会におけるスキットが物語る通り、決して手を抜いているわけではないのに学外だけでなく学内の理解も温度差がある中で、どのようにすれば「元気のもと」を感じながら前向きな仕事ができるのか分科会として研修内容を企画する。また、その他にも各短大自体が抱える多様な課題が存在すると考え、各々の課題を抽出し整理・検討する。具体的には、主に職場で抱える問題点を情報交換しキーワードをまとめて発表後、グループごとに具体案を企画し実施案を発表する。その後、グループ毎に発表を行い、代表テーマを選定し、全グループの内容も加味しながら高校教員や受験生の立場や地域・他部署などへの対応も含めて考える。

以上、参加者が仕事上抱える悩みを軽減し元気な職場にするためにお互いに意見交換することで、本研修会のテーマである「みんなで作る元気のもと」を実体験し、リアルな仕事現場で活用することを目的とする。

2. 分科会スケジュールと内容

一日目

- ① 挨拶・分科会の趣旨目的について
- ② 自己紹介（事前課題を使った自己紹介）
- ③ 基調講演とスキットを踏まえて現状課題の抽出と整理
- ④ 私にとっての「元気のもと」とは（発表）
- ⑤ 一日目の簡単なまとめ

二日目

- ① 全体会での事例報告を踏まえて、グループ討論
「理想の広報はスタッフが元気で楽しく仕事ができることから」をテーマに具体案をグループごとに提案
- ② 発表準備
グループごとのプレゼンテーションを行い、代表意見をまとめる
- ③ 理想の高校訪問
「高校訪問グルメマップ」を作成し、高校教員や高校生、学内の他部署、地域などに対して効果的なコミュニケーションを図るために、高校訪問時のグルメマップを作成し話題のネタを作り仕事の楽しみを感じて自分も回りも元気になる。
- ④ 各々4つのシーンを想定しスキットを完成させた。

三日目

- ① 全体会での発表準備とスキットの練習
- ② 全体発表

3. まとめと感想

本研修会は、私立短期大学全体の現状の元、各広報担当者が受身ではなく自分なりに考える場として、様々な立場から必要なこと、重要なことを気づく場になっていると私は感じている。「募集」という大きな責務を背負いながら、試行錯誤する中で「元気」の大切さを改めて実感していただけるのではないかと思う。

分科会には始めて参加の方や、経験年数の多少にかかわらず自由な意見提案ができており、グループワークや種々の発表でその成果が発揮できたことは、参加者各位の意欲の高さを再認識することができた。また、グループリーダーの方々が分科会運営を積極的に牽引して下さったことは、大変頼もしく感じている。

また、この研修を通じて毎回顔を合わせることができる参加者の方も、年々パワーアップされている様子が伺えることも、この研修会ならではの醍醐味とも言えるのではないだろうか。特に、今回は全体発表において好評価を頂き、他の分科会のアンケートの記述の中にも実現可能な方法として興味を持っていただいたという回答もあり参加者の頑張りに賞賛を表したい。なお、昨年アンケートでは「もう少し意見交換や話し合いができる時間が欲しかった」という意見が複数あり、運営担当者の反省点として、今回は一つ一つの内容に余裕のある研修時間をその場の流れも加味して進めることができた。

研修会終了後、参加者の方々が日々の業務で元気に活躍されていることを祈りつつ、今後の短期大学の充実と発展を願っている。

